

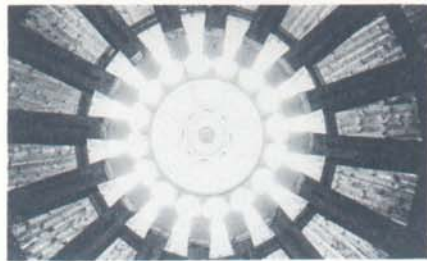
F. ロベッタの作品 2 題

Church in Andalo

教会, アンダロ, 1972-73

設計=Francesco Rovetta

構造=Angelo Micheletti, Giuseppe Rovetta



イタリア北部ドロミテ山脈に続く丘陵地帯トレントのアンダロは、別荘地帯として有名なところである。最近の別荘ブームによる人口増加のため手狭になった既存の教会に隣接して、新しい教会が建てられることになった。

この教会の特色は、シンプルなかたちとその架構

方式にある。円形の平面において16本の木製集成大梁（厚さ3cmの松板を接着して、長さ約12m、梁成1.1mにしたもの）を中央と端でピン接合している。木の架構部材をそのまま意匠的にも見せており、中央の鉄製ピン部材との組合せにより、鉄やコンクリートや石でできたものとは違った宗教空間を構成している。

フランチェスコ・ロベッタ

1928年生まれ。ヴェネツィア建築大学卒業。カルロ・スカルパに師事。現在、ヴェネツィア建築大学で教鞭をとっている。

